

令和2年6月1日

関係各位

第31回全国高等専門学校プログラミングコンテスト
実行委員会 委員長 苫小牧工業高等専門学校長
小林 幸徳

第31回全国高等専門学校プログラミングコンテスト開催方法の変更（予定）について

新型コロナウイルスによってお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、医療・介護関係をはじめ、感染症対策の最前線でご尽力されているすべての方々に感謝申し上げます。

さて、苫小牧市民会館を会場に開催を予定しておりました第31回全国高等専門学校プログラミングコンテストにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、開催の可否を含め実行委員会として協議を重ねて参りましたが、結果として今回の大会は感染予防の観点から、苫小牧市での参集大会とせず、オンラインによる遠隔開催とさせていただくことで現在準備を進めております。正式には6月26日に開催されます全国高等専門学校連合会総会において審議、了承される見込みとなっておりますが、応募への準備等もあるかと思いますので、本日皆様にお知らせする次第です。詳しくは募集要項をお読みいただき、多くの学生に参加していただけることを期待しております。

北海道での開催を楽しみにしていた学生諸君、日頃より指導にあっていただいている先生方、様々なご支援・ご協力をいただいている後援団体、協賛団体の皆さまには誠に申し訳ございませんが、感染拡大防止、学生生活・学業への影響を考慮し、このような方式へ変更させていただく予定です。

課題部門、自由部門については、例年とは少し異なる形式での実施を予定しています。また、競技部門については、オンライン開催の実施に係る様々な状況を総合的に判断した結果、実施を見送る予定です。学生の皆さんにとっては、これまで積み重ねてきたものが発揮できない状況かもしれません。しかしながら、このような時だからこそ高専生の持つ創造性、実践性を発揮していただき、過去の大会に勝るとも劣らない大会となるよう全力を尽くしていただければと考えております。

後援団体、協賛団体の皆さまにおかれましては、学生たちの作品への情熱、アイデアを直接感じることは難しいかもしれませんが、これまで同様にご支援をいただければ幸いです。

我々実行委員会もコンテストの成功に向けて最大限、努力して参りたいと思います。

最後になりますが、あらためまして、今回下した決定に対し、何卒ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。